

全仏

ZENBUTSU



441

仏暦2541年 9月 (1998年)
財団法人 全日本仏教会
JAPAN BUDDHIST FEDERATION



比叡山宗教サミット11周年記念世界平和祈りの集い (関連記事 8 頁)

仏教とマルチメディア
加盟団体訪問
群馬県仏教連合会

国際委員会

六月四日午後二時より、明照会館会議室で、本年度第一回国際委員会が開催された。

蓮事務総長より挨拶、次に委員互選により、委員長に松濤弘道師（浄土宗）、副委員長に鎌田良昭師（天台宗）が選出された。

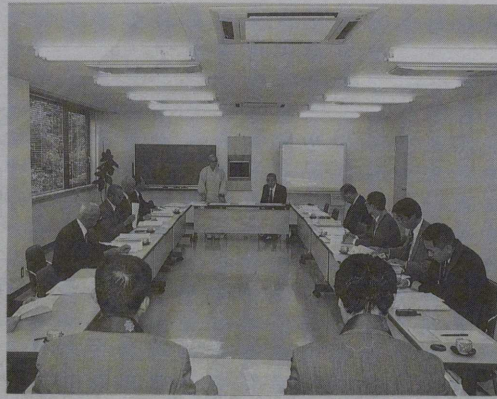
続いて、今秋シドニーで開催される、WF B世界大会の概要が事務局より報告され、対応が協議された。

また、各委員から国際交流の現況が報告され、活発に情報交換が行われた。



国際委員会（6月4日 於 明照会館）

税務委員会



税務委員会（6月11日 於 明照会館）

明照会館会議室を会場に、六月十一日午後二時から、第一回税務委員会が開催された。

蓮事務総長の挨拶に続き、委員互選により、委員長に瀬古眞隆師（臨済宗妙心寺派）、副委員長に川島宏之師（高野山真言宗）が選出された。

次に、来年度（平成十一年度）税制改正について対応が協議された。

また、改定宗教法人法による、備付・提出書類について、各宗派、団体作成の書式見本をもとに情報交換が行われた。

仏旗・バッチ 頒布御案内

大仏旗 たて一四〇cm×よこ二二〇cm

三三、〇〇〇円

中仏旗 たて九〇cm×よこ一三五cm

一八、〇〇〇円

小仏旗 たて七〇cm×よこ一〇〇cm

九、三〇〇円

手旗 たて三五cm×よこ五〇cm

八、〇〇〇円

法輪旗 たて九〇cm×よこ一三五cm

七、四〇〇円

仏旗バッチ 二cm×四・五cm

五〇〇円

法輪バッチ 直径一cm

一、〇〇〇円

お申し込み

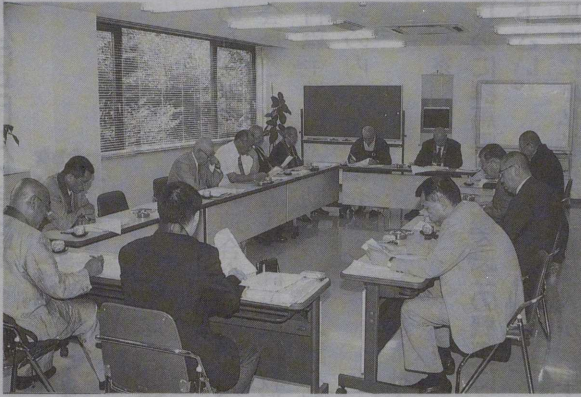
全日本仏教会財務部

電話 〇三―三四三七―九二七五

FAX 〇三―三四三七―三二六〇

ルンビニー委員会

七月三十一日午後二時から、明照会館会議室で、第二回ルンビニー委員会が開催された。まず、先般LDTより本会宛に送付されたマヤ堂復元に関する提案を検討した。その結果、委員会としての意向を改めて具体的に文書化し、早急に先方へ送付することになった。続いて事業推進の円滑化のため、予算措置について再度検討が行われた。



ルンビニー委員会（7月31日 於 明照会館）

仏教とマルチメディア研究会

研究会



仏教とマルチメディア研究会
（6月30日 於 明照会館）

六月三十日午後二時より、明照会館会議室で、第五回仏教とマルチメディア研究会が開催された。

最初に、宗教衛星放送について、事務局より現況が報告され、各宗門の対応状況などが委員より報告された。

続いて委員より、各メディアのデジタル化等について基礎的な理解の必要性が指摘され、今後の研究会の内容に生かされることとなった。

また、各宗門や寺院での事務処理のO A化の現状など、より実務的なレベルでの情報交換と研究にも、今後研究会として取り組むこととなった。

無料法律相談室

全日本仏教会では、左記の要領で、長谷川正浩弁護士による無料法律相談室を開設しています。相談内容は、寺院運営をめぐる諸問題、税務、一般民事等、ご自由ですが、現在、宗教法人法の改定に伴い、相談件数が増えています。相談をご希望される方は、必ず、電話で予約をお願いいたします。

- ◆日時 原則として毎月第二・第四木曜日午後一時
- ◆場所 明照会館（港区芝公園四一七―四）
- ◆予約 全日本仏教会事務局（〇三―三四三七―九二七五）

加盟団体訪問

群馬県仏教連合会

更生保護法人 群馬県仏教保護会

このたび群馬県仏教連合会を訪問し、過外一雄会長と、更生保護法人群馬県仏教保護会の木村稔主幹に、活動についてお話を伺った。以下その内容をご紹介します。

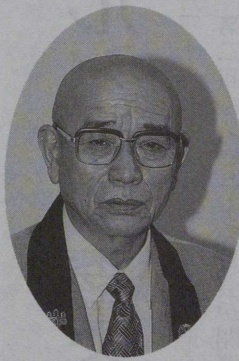
(文責 社会部)

はじめに群馬県仏教連合会の概要について

お話し下さい。

群馬県には仏教系の宗教法人が、単立も含めると千二百一あります。それらを地域ごとに三十一支部に分けています。

また群馬県内には超宗教の連合団体である、群馬県宗教団体連合会(以下県宗連)があり、現在そちらの会長職も務めさせていただいています。県宗連としては、歳末募金、隔月の



過外一雄会長

理事会、年一度、各宗教ゆかりの施設等を訪問見学する「先進地視察」などの事業を継続して行っています。

仏教連合会としては、県の協力を得ながら、宗教法人の備付帳簿書類の調査指導を、各支部の寺院を会場に、現在順次行っています。

また、全日本仏教会のマヤ堂復元事業や、阪神・淡路大震災に際しての救援金などにもご協力させていただきました。

さらに仏教連合会としては、群馬県仏教保護会への協力援助が事業の大きな柱の一つとなっています。

群馬県仏教保護会について教えてください。

大正天皇の即位の大典を記念して、前橋市内の有志寺院によって始められた免囚保護事業が契機となりました。大正三年、群馬県下の各宗寺院住職によって群馬県各宗連合協会が設立され、現在地で本格的な免囚保護事業を開始しました。

大正十一年三月、財団法人の設立認可を受け、群馬県仏教連合保護会を設立。昭和十五

年七月に、財団法人群馬県仏教保護会と改称しました。戦中戦後の混乱期を経て、昭和四十三年に少年寮を、翌四十四年に鉄筋三階建て、収容人員四十六名の現在の建物が完成しました。群馬県仏教連合会の事務所はこの中におかれています。

当時は毎月五十名以上収容していましたが、昭和五十一年、収容定員を四十名とし、ケース毎に適切な処遇ができるようにしております。さらに昭和六十三年には、職員宿舎が隣接して完成しました。

また、昨年四月一日に、財団法人から更生保護法人に改組、社会福祉法人並みの援助が地方公共団体から得られるようになりました。

仏教保護会の現在の運営状況をお話し下さい。

職員は七名で僧籍を持つ人が一人おります。更生保護会とは、更生緊急保護法に基づいて、法務大臣の認可を受け、更生保護事業を営む民間団体です。刑期満了などで刑務所を出所し社会復帰を図る人たちが、執行猶予、保護観察処分を受けている人たちを対象としています。保護観察所から委託を受け、宿泊場所や食事を与え、適切なアドバイスを行い、一日も早く社会復帰が果たせるよう手助けを行います。

収容者は、前橋刑務所だけではなく全国から来ます。昨今は外国籍の人でも収容されてい

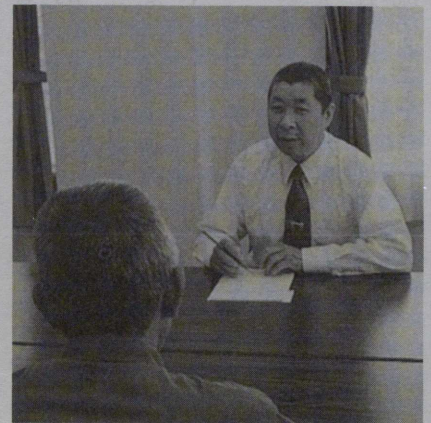


群馬県仏教連合会・仏教保護会事務局の皆さん

ます。収容期間は、身柄の拘束を解かれた日から半年間となっています。ただし、保護観察三年の処分を受けた人は、三年間施設にすることも可能です。

運営資金は、国からの委託金の他、群馬県仏教連合会の会員の方々からの賛助会費、会費の中からの助成金、特別会員の方々からの寄付金を充てさせて頂いています。

また、更生保護婦人会という組織があり、群馬県下には六千名の会員がいます。その方々からも浄財が寄せられます。また各地区の会員の方に、四季を通じて慰問においていただいています。「社会の母」としてのご協



個人面接による指導

力に感謝しています。

群馬県仏教連合会の会員には、保護会の理事をお願いしている方がいます。また会員には、近隣の前橋刑務所の教悔師を務める方もおります。私も含め、保護会を出た人をお寺に住み込ませ、お墓掃除を手伝ってもらったり、家族同様に面倒をみることもあります。

特にご苦労されることなどは。

やはり本人が心から懺悔し、更生しようという気持ちがないとなかなか社会復帰は難しいようです。画一的にこうした施設を出て、きちっと社会で働けるほど世間は甘くはないからです。入所者には障害を持つ人もいますが、不況のせいもあり、こうした人々の雇用はなかなか難しい状況にあります。

ですから、退所者には「困ったら来なさい。」と必ず声をかけています。退所後、毎年大晦

日に「病気をせずに、新年を迎えることができそうです。」という電話を十八年間かけてきた人もいました。罪を憎んで人を憎まずといいますが、怠けぐせなど心の病気はやはり自分で直さなければなりません。それには親や家族を思い、「おかげさまで」という感謝の気持ちを持つようにと話しています。

また、以前ここで六ヶ月間面倒を見た人が、二十年経って自分が病気になった時、突然お見舞いに寄ってくれたことがありました。

このように施設を利用した人で更生した人からの便りが大きな励みとなっています。

また、こうした施設は周囲の地域の人々の理解を得ることも大切です。町会の役員を務めさせて頂いたり、町内の一員として地域にとけ込めるように努力しています。

今後の課題をお話下さい。

収容者の犯した罪の内容も、現在は各種の薬物乱用者などが増加しており、以前とはだいぶ変わってきています。今後そうした人たちを収容するにあたっては、処遇は画一的にはできないので、職員の対応も含めて大変になると思います。

仏教連合会の先師が、大変なご苦労のもと始められた事業です。会員の皆様の温かいご協力を得ながら、今後も先師の意志を受け継いで行きたいと考えています。

仏教とマルチメディア

高野山真言宗

<http://www.koyasan.or.jp>

真言宗善通寺派

総本山善通寺

<http://www.niji.or.jp/zentsuji/index.htm>

今回は、高野山真言宗と真言宗善通寺派
本山善通寺をご紹介します。(文責 社会部)

※ ※ ※

高野山真言宗

教学部社会課の五味芳道課長、高岸隆光書記にお話を伺った。

インターネット上にホームページを開設された経緯をお話ください。

ホームページは本年六月十五日の、弘法大師誕生の日から正式運用しています。

運営は、現在の所、教学部社会課の二名で担当しています。ホームページの内容は外注せず、高野山内の行事などに応じ、内部で随時更新作業を行っています。外部の接続業者

のコンピューターを利用して開設しています。
ホームページを開設された目的は。

本宗では、従来より、宗内のネットワーク作り、会議や討論の場の提供などを目的とした「お大師ネット」というパソコン通信を主



高野山大師教会内の端末

宰してきました。しかし、遠隔地からの高額の通信(電話)料、文字情報中心などの技術的な課題をいくつか抱えていました。

今回、「お大師ネット」の精神を生かし、より安価で広範囲の人々が利用できるようにインターネットへ発展的に移行したものです。
特色としているのは何ですか。

弘法大師の教えは、私たちがあらゆる垣根を越え、「生かせ いのち」の名のもと、お互いの仏のいのちを磨き、輝かし、自由に交流することを示しています。

現在の社会システムの中で、この教えを具現化するため、インターネットの双方向性という特色に着目しました。また、実際の運用では、参加者によるコミュニケーションと情報交換の場を提供することを基本とし、一方の広報手段となることを避けています。

そこで、ホームページ内に、まず宗内の僧侶のコミュニケーションの場を設置してみました。そこでは参加者が対等な立場で意見や情報の交換を行っています。また、運営にあたっては、発言の取り扱いや質問への回答など、開設後にいくつか課題となる点も出てきていますが、基本理念を大切にして運営を続けたいと考えています。

また、本宗のホームページを媒介として、様々なホームページへ往来できるよう、他との連携にも特に配慮しています。

<http://www.koyasan.or.jp> <http://www.koyasan.or.jp>

風 鐘 (ふうたの こえ)

編 者 名 義

真言宗の教理のシンボルである鐘に加え、宗内にそびえる大本大塔の丸輪郭から響く四方の隅に広がる鐘に似つかう鐘(風鐘)がふるら下がり、風のある日には心地よい響きを響かすことが出来ます。

この「風鐘のこえ」は、編者からのメッセージのプログラムです。

98/8/5 アップ

「風鐘のこえ」の更新もネット空間で行きました。この間の期間、様々な作業が重なって、サイトの確認はしているはずですが、一部とはなかなかに行きませんでした。このサイトで皆さんにどんな場所を提供しようかと色々なサイトを見学しに行ったり、いろいろな編集や考え方を参考にしながら進んでいるのですが、それを無理に理解するに似た期間が過ぎました。いろいろなウェブサイトの作りが参考です。皆さんからのご意見がお待ちしています。http://www.psy.or.jp/links/links.htmlにいろいろな個人や法人のサイトに対して様々な意見があることがあります。この情報は、いろいろな情報源から集められています。

真言宗をコンセプトとするこのサイト、日々変化していきたいと考えています。敢て突然デザインやメニューの名称や表示の場所が変わってしまうことありますがご了承下さい。皆さんから寄せられる情報を和やかに受け取らせていただきます。

高野山での劇団の公演の記事依頼を受け、掲載させていただきました。地方公演の日程もお知らせ掲載する予定です。

朝日新聞、毎日まで秋田県で行われている第1回日本ワンダラーリーの祭典催し行事のサポートに出張中です。皆さん応援です。

玉 珠

98/7/14 アップ

ビキナーにもできるLCC解析

高野山真言宗ホームページを開設して半月、そろそろどんな方からのアクセスがあるのか気になってきました。そんな中、日経MAC7月号にアクセス・ログに関するコラムを執筆、掲載していただきました。

日経MAC誌によるとアクセス・ログ解析の順序は次の通りです。

1. レンタルサーバー会社にログの提供を申し出る
2. LCC解析ツールの取得

高野山真言宗ホームページ

今後の展望を教えてください。

各宗派の研究機関等が、自らのホームページを通じて、意見や情報を交換できる場を提供する中で、宗派を超えた情報交換のネットワークを構築することが必要になると考えます。また、宗門内の技能を持った人材情報、福祉関連情報、災害時緊急情報、各寺院の特色などを簡単に検索し利用できるようなネットワークの構築についても、現在研究を行っているところです。

真言宗善通寺派
総本山 善通寺

庶務部長の大林教善師、庶務課長の永倉善暁師にお話を伺った。

ホームページの運営状況をお話下さい。」と昨年より準備を進め、「総本山善通寺」と



善通寺寺務所内の端末



総本山善通寺ホームページ

して本年二月中旬に開設しました。運営は職員で行っています。ホームページの内容については外部の業者と相談しながら、こちらの要望を入れて作成しました。昨年、正式に予算措置し、今回運営をはじめました。インターネットを使う若い世代に仏教に関心を持っていただくことを目的としています。ホームページの内容を具体的に教えてください。

弘法大師空海誕生の地である、総本山善通寺の紹介を中心にし、一般の方々に関心を持っていただきたいと考えています。また、「善通寺大会陽はだかまつり」「空海ふるさとまつり」などの独特な行事の案内も写真入りで分かりやすく紹介してあります。

現在、善通寺市や、商工会議所もホームページを開設しており、それらとなるべく重複

しないように内容をまとめています。

構成の特色としては善通寺の現存する門を通して、ホームページの各部分に入れるようにしたり、弘法大師の一代記を讃岐弁で紹介したりしています。また、親しみを持っていただけるように、星占いのコーナーなども設置して好評を頂いています。

また、善通寺は平成十八年に創建千二百年を迎えます。善通寺は弘法大師の父君、佐伯善通公の菩提のために創建されたお寺です。

このお寺をより多くの人に知って頂き、ご参詣頂けるように「善通寺遍照会」が結成されました。会員には「へんじょう」という機関誌が送付され、各種法要・行事の案内がなされます。この会の入会申し込み書をインターネット上で入手できるように工夫してみました。今後の展望を教えてください。

これからは、お遍路さん、信者さんだけではなく、周辺地域の方、宗派を超えた一般の方々にお寺を訪れていただくことが大切になると思います。その一助として、今回ホームページという門戸を開いてみました。

また、既にホームページを開設している他宗派、また、善通寺派の青年会との連携等の強化の必要も感じています。

さらに、宗内の事務処理の効率化についても、現在検討や研究を進めています。

東京都仏教連合会総会

六月二十二日、東京都仏教連合会総会が、築地本願寺で開催された。

午後二時より理事会、午後二時より総会が開催され平成九年度の会務報告・決算報告・監査報告が行われた。本会の蓮事務総長の挨拶の後、吉橋財務部長が今秋開催されるWFB世界仏教徒会議シドニー大会の説明を行った。

引き続き四時から同別院第二伝道会館で、立錫の余地がないほどの会員の出席のもと、「宗教法人法一部改正法」に関する講演会・研修会が開催され、記入式提出書類用紙と書式の入ったフロッピーディスクが出席者に配布された。

世界平和祈りの集い

八月四日、比叡山延暦寺で、比叡山宗教サミット十一周年世界平和祈りの集いが開催された。本会から三浦同和推進部次長が出席した。

午後三時、藤光賢天台宗宗務総長の開式の辞に続き、平和祈願法要が厳修された。

次に平和の祈りの黙禱、平和メッセージ朗読、国内外の宗教界代表者の来賓挨拶と続き、参加者一同が『平和の合い言葉』を唱和、世

界平和を祈念し閉式した。

事務局録事

八月一日

- 四日 世界平和祈りの集い出席
- 十一日 日宗連税制特別委員会
- 二十七日 法律相談室
- 二十八日 局内会議
- 二十九日 岐阜県仏教徒大会出席

哀悼

- 徳富義孝師（全仏元常務理事）
七月二十五日遷化 七十八歳
- 高野山真言宗元宗務総長
訓覇信雄師（全仏元常務理事）
七月二十六日遷化 九十一歳
- 真宗大谷派元宗務総長

世界仏教徒会議シドニー大会参加者募集

第二十回世界仏教徒会議（WFB大会）が、「仏教と二十一世紀の課題」をテーマに、本年十月二十九日より、シドニーで開催されます。只今、ツアー参加者を募集中です。

参加者は、濱野堅照会長、不破仁理事長とともに公式代表团として、オープニングセレモニーに出席できます。

オーストラリアは、この時期爽やかな初夏にあたり、旅行には最適の好季です。皆様お誘い合わせの上、お申し込み下さい。

◎Aコース（東京・大阪発）

十月二十六日（月）～十一月一日（日）七日間

旅行代金：二十四万二千元

シドニー、キャンベラ市内観光、カウラの日本人戦没者墓地参拝などの後、大会開会式に参加するツアーです。

◎Bコース（東京・大阪発）

十月二十六日（月）～十一月一日（日）七日間
旅行代金：十六万二千元（オプション別）

オプションナルツアーを組み合わせシドニーに滞在、大会開会式に臨むツアーです。

◎申込切 九月二十一日（月）

（定員になり次第切。お早めに）

※お問い合わせ、お申し込みは

全日本仏教会事務総局

電話 ○三三三三三七九二七五